

標準化部会

構成と活動内容

高度無線通信研究委員会標準化部会は、IMT-Advancedに関する技術的検討と標準化の推進を目的に活動してきたIMT-Advanced部会の所掌を継承し、さらに将来の移動通信サービスについて検討を行うことを目的として、平成23年4月に設置されました。

標準化部会の構成並びに活動内容は、以下のとおりです。

ITU-R WP5D に対する対応の検討

IMT の標準化に関する国内外関係機関との連絡調整

情通審へ諮る WG 別対処方針案、寄与文書要旨案、寄与文書案、各国寄与文書審議表案の承認及び情通審への提出

ITU-R WP5D へ提出する ARIB 寄与文書の承認及び提出

(1) WP5D 対応WG

ITU-R WP5D への対処方針の検討

ITU-R WP5D への入力寄与文書案の原案作成

標準化部会から指示された事項

(2) コラボレーショングループ

国内外の関係機関との交流、協力及び調整方針の作成。

国内外の関係機関との交流、協力及び調整の実施（資料作成、発表等を含む）。

対外活動に関する両専門委員会との調整。

(3) WirelessMAN-Advanced 連携WG

ARIB を Transposing Organization と想定した場合の、ITU-R WP5D/IEEE 802.16 WG に対する事務的対応。

IEEE 802.16 WG 及びその他の Transposing Organization との対応に係る対処方針検討。

IEEE 802.16 WG 及びその他の Transposing Organization との連携、その他。

(4) IMT-Advanced 無線インタフェース提案検討会（休会中）

IMT-Advanced 無線インタフェースの新規提案への対応（新規提案があった場合に活動再開）

リンク

- [ARIB Evaluation Group Home Page](#)

組織構成

